

## 犬や猫の適正な飼い方について

### 犬を飼い始めたとき

犬を飼う場合、犬を飼い始めた日または生後90日を経過した日から30日以内に、飼い犬を登録し、犬の鑑札の交付を受ける必要があります。飼い犬の登録は生涯に一度行います。

登録手数料 3,000円

また、交付された鑑札を紛失した場合、再交付の手続きが必要です。

再交付手数料 1,600円

犬が行方不明になったときに役立ちますので、鑑札は犬の首輪につけましょう。



### 登録された犬が死亡したとき

登録された犬が死亡した場合、犬の死亡届出書を提出する必要がありますので、手続きをされる際に環境水道課にご連絡ください。

準備するもの 登録の際に交付された犬の鑑札

### 届出内容の変更があったとき

飼い主が変わった場合や転居などにより住所が変更になった場合は、変更届出書を提出し登録内容を変更する必要があります。

### 狂犬病予防注射について

生後91日以上の子犬の飼い主は、狂犬病予防法に基づき、飼い犬に毎年1回、狂犬病予防注射を受けさせる必要があります。町では毎年5月と10月に各地区の公民館などを会場とした集合注射を実施しています。なお、注射は動物病院でも受けさせることができます。

集合注射の注射料 2,570円 注射済票交付手数料 500円

### 犬の飼い方のマナーについて

- ・散歩中などに犬を放すことは、迷い犬になることもあり、犬にとって危険なことです。飼い主にとってはおとなしい犬でも、他の人は怖いと思うこともあります。必ずリードなどでつないで散歩をしましょう。
- ・犬の散歩中のフンや尿の後始末を行い、周囲の人たちに迷惑をかけないようにしましょう。



### 犬や猫の適正飼養

犬や猫などのペットは、飼い主にとって大切な家族です。一方で、犬や猫が苦手な人や恐怖心をもっている人もいます。また、飼い主は気にならなくても鳴き声や排せつ物の臭いなどで周囲に迷惑をかけていることもあります。

ペットがその命を終えるまで大切に飼育することは、飼い主の責任です。

命を大切に、ルールやマナーを守って飼いましょう。



問合せ先 環境水道課 ☎72-4002

## わたしたちの人権

172

### 第24回「5・23差別をなくす山都地区集会」が開催されました。

本年も、5月25日に矢部中体育館で開催され、保育園児や小中学生、保護者、教師など約500名の参加がありました。

オープニングに矢響太鼓、山都みらい保育園の園児・先生の合唱があり、続いて問題提起、決意表明、集会宣言、スローガン採択等が行われました。矢部中学校生徒の司会により元気の出る子ども集会となりました。問題提起では、絵本の「島ひきおに」のお話があり、子どもも大人も大変考えさせられる内容でした。ここに紹介します。

#### 《あらすじ》

昔、海の真ん中の島に鬼がひとりぼっちで住んでいました。鬼は友だちが欲しくて欲しくてたまりません。ある嵐の晩、沖を通りがかった漁船が、遠くに光る鬼の目を家の明かりと見間違えて、助けを求めて鬼の島へやってきます。鬼はうれしく

なって漁師たちの前に現れましたが、漁師たちは肝をつぶし、命乞いをします。

鬼が「人間たちと一緒に暮らすにはどうしたらよいか。」と尋ねると漁師たちは、「自分たちの島は狭いので、鬼が島をひっぱってきたら一緒に暮らせるのだが」と、口からでまかせを言います。

これを心から喜んだ鬼は、島を引っ張って海を歩き、人間たちの島へと行きました。すると、村人たちは大騒ぎ。

村人は鬼に嘘をついて他の村へ行かせようとしています。

鬼はただ友だちが欲しいだけなのに・・・仕方なくまた島を引いて海の中を歩いて行きます。

そして、次の村でも鬼はだまされ

ます。行く先々の村で、鬼はだまされ、厄介払いを受けますが、それでも鬼は友だちを探して島を引くのです。

『さて、この鬼が山都町に来たら、皆さんはどうしますか？』

鬼の見た目や鬼に対する偏見で、鬼の本当の気持ちを分かってほしいなと思った村人たち。そして、村人たちのずるがしこさを、ちゃんと見抜ける人になりたいですね。』と問題提起されました。

今回の5・23集会は、差別を見抜き、差別を許さず、差別と闘う、そして人の痛みが分かる優しい心を持った子どもたちの育ち、そんな力をつける大切な集会となりました。

○集会に参加した子どもたちの感想の一部を紹介します。

（小学生）  
島ひきおにのように、見た目で人を判断するのは本当にいけないことだと分かりました。

（中学生）  
「自分が闘ってないと差別は見えない。差別がなくなるまで闘う」のスローガンが心にズサッと突き刺さるようで、私は身の周りの差別に気づいているのかと考えさせられた。

・中学生が発表したように、差別をなくしたいなら、行動しようと思った。人を傷つけないように言

葉に気をつけて、おかしいと思ったことは「おかしい」と言えるようになりたい。  
・僕は、鬼が来たら、村人さんたちと同じ行動をしようかなと思いましたが、これからはしっかり、外見でなく中身を見ていきたい。  
・この集会で、学校の道徳の時間よりも深く人権の事について考える事ができました。来年も参加し、差別のない未来を創っていきたい。

《高校生》  
・矢部中3年生の発表を聞いて心に残っているのは「無関心も差別につながる」という言葉です。無関心だと差別にも気付かず、行動もできないと思います。清和中の発表では、生きることの大切さを感じる事ができました。これから高校でもっと色々なことを学び差別に対する考えを深くし、言葉や行動で表現できるように努力していきたい。

子ども達の素晴らしい感性に山都町の明るい未来を見出したような気がします。大人も子どもたちに負けないよう「あらゆる差別」に立ち向かっていけるよう決意した集会でした。